

参加17名

第六十九回古民家歴史部会歴史探訪のご案内

平成24年6月15日

古民家歴史部会 木島・原本

前回は、平成24年度企画「横浜、西区・中区・磯子区の今昔探訪」の2回目としまして、「岩亀稲荷・掃部山公園・井伊掃部頭銅像・野毛山公園史跡」を探訪しました
今回は、「船渠建基碑・汽船道・新港埠頭」を探訪します。ご期待ください。8月は夏休みです。

記

日 時 平成24年7月5日（木）（今回も雨天決行します）。
集合場所時間 JR根岸線「桜木町駅」改札口9時50分同時出発。
参加資格 本郷ふじやま公園傷害保険適用のため登録会員に限ります。
用意する物 前回に続き町中を歩きます。交通安全にご注意下さい。
行 程 「桜木町駅」・芒村姥岩→動く歩道→男爵芋由来→長谷川伸の文学碑→横浜緋桜→汽船道→旧臨港護岸→港1号・港2号橋梁→港3号橋梁→横浜国際船員センター→横浜ワールド・ポーターズ→JICA独立法人国際協力機構→新港サークルウォーク→新港埠頭4号岸壁→ドイツ軍艦爆発事件→ララ物資記念碑→海上保安資料館→海上防災基地→ハンマーヘッド・クレーン→横浜税関事務所遺構→旧横浜港プラットホーム→赤煉瓦倉庫。

○食事場所；赤レンガ倉庫解散・昼食自由行動。

以上

歴史探訪 第69回・横浜の今昔探訪(その3)
平成24年7月5日(木) 古民家歴史部会

(桜木町駅～^①世田谷区・日本最初鉄道創業地～ドックヤード
帆船日本丸～船渠建基碑～汽船道～
新港埠頭～JICA国際協力機構～海上防災基地～赤煉瓦倉庫
～桜木町駅 参加17名 ①

「歴史探訪」は今回が69回、次回(9/6(木)・8月(奥木)第70
回の大台に達します。(6/7(木)が2回目、

「横浜の今昔探訪」は、5/10(木)から始まり、今日は
その3回目ということで横浜港の中心部^②を訪ねました。
の桜木町駅^③と出ると、ランドマーク側の出口広場^④辺りに、

「日本最初鉄道創業地」ほかの記念碑があり、横浜-
新橋間に、日本最初の鉄道が^⑤開通し、初代の横浜駅は
ここに^⑥あったそうです。

の旧横浜ドックに^⑦繫留されている練習帆船・日本丸と眺
めながら、フロムナードとして保存されている「汽船道」と歩き、
港旧趾と港護岸や、モニュメントの錨、

新港埠頭などを見て、JICA国際協力機構で小休止
をとりました。④

のここからは、海上防災基地やハンマーヘッドクレーン、⑤

旧横浜港プラットホームを経て、赤煉瓦倉庫に到着。
ここで本日の行程を終了しました。(長谷川二郎記)
⑥ ⑦

参加者：原本吉田長次

参加：17名

第六十九回「本郷ふじやま公園古民家歴史部会」歴史探訪 横浜、西区・中区・磯子区の今昔探訪

6/14(木) 下見 家来7:40—バス7:54—港南駅南8:12古民家歴史部会員 原本
7/5(木) 本番 8:00— 8:08 (江電) 8:14 8:15 8:16 8:32 8:33 8:37 8:54

「IV」7月5日(木) 船渠建基碑・汽船道・新港埠頭

集合場所：JR根岸線「桜木町」改札 9時50分厳守同時出発
行程：「桜木町駅」・芒村姥岩→動く歩道→男爵芋由来→長谷川伸の文学碑→横浜緋桜→汽車

道→旧臨港護岸→港→1号・港2号橋梁→港3号橋梁→横浜国際船員センター→横浜
ワールド・ポーターズ→JICA独立法人国際協力機構→新港サークルウォーク→
新港埠頭4号岸壁→ドイツ軍艦爆発事件→ララ物資記念碑→海上保安資料館→海上防
災基地→ハンマーヘッド・クレーン→旧横浜税関事務所遺構→旧横浜港プラットホー
ム→赤煉瓦倉庫。

食事場所：「」・TEL045

8:48 (東横線) 10:00~05
1・芒村姥岩 (ゲムラカカリ)・日本最初鉄道創業地

東横線 10:09

桜木町駅のランドマーク側の出口広場辺り。昔海だった頃、小さな二つの岩があった。

○日本最初鉄道創業の地・開業当時の横浜駅長室跡・エドモント・モレル記念碑

1872年(明治5)イギリス人技師エドモント・モレルの尽力で横浜—新橋間に日本最初
の鉄道が開通した。当時の横浜駅は今の桜木町駅あたりにあった。

1872年(明治5)に鉄道が開通し、当時の駅長室はここにあったそうです。この碑は
地下道入口階段の左柱にあり、この絵地図で最少の碑です。初代「横浜駅(現桜井町駅)は、
明治5年」建造・2代目横浜駅舎(高島町に移転・大正4年開業)。3代目横浜駅(現横浜駅・
昭和3年建造)。現ステーションビルにある横浜駅舎は4代目かな?

2・動く歩道

平成元年(1989)竣工。

3・ドックヤード・帆船日本丸

旧横浜ドック(三菱重工横浜造船所)の石造りドックには、かつて海の貴婦人と呼ばれた練
習帆船日本丸が繋留され、一般公開されている。この石造りのドックは明治29年に横浜ドック
が創業(建基式29年2号ドック、明治30年(1897)1号ドック・開渠式明治30年2号、明治
31年1号)を開始して以来幕を閉じるまで87年間、造船王国日本の先兵として多くの船を
進水させていた。

4・建基記念純銀製銘板・男爵芋由来(2号ドック・二階ホール)

平成元年開催する横浜博覧会の為、埋め立てられていた 2 号ドックを掘り返す工事中発見された。川田隆吉 (1856~1951) は、横浜船渠 (セキョ・ドック) 創始者 (初代経営者) で、岩崎弥太郎の片腕で三菱社の管事 (現副社長格) であった元第三代目日銀総裁川田小一郎男爵の長男。

○男爵いも由来；龍吉は、明治 36 年横浜船渠退社、後、父小一郎病死、龍吉が男爵を襲爵 (シユウシャク)。度北した龍吉は、アメリカ産ジャガイロの種を取り寄せ、同国農法を取り入れる等の懸命な努力が実り、栽培に成功した。「男爵が作ったイモ」の由来からである。

5・長谷川伸の文学碑 (1884m 17~1963 s 38・小説家、劇作家・本名伸二郎)

此処日ノ出町で生まれた。8 歳の時実家土建業倒産、以後独力で働き続け、小学校代 3 年で退学。中退後、出前持ち、2 号ドック現場小僧 (11 歳頃) となる。20 歳頃駆け出し記者、27 歳時菊池寛に認められ、作家としての活躍始まる。股旅、仇討ものに新分野開拓。作「瞼の母」(3 歳実母に別れ 46 年後 (昭和 8) 宿願の母に再開した人生体験小説)「一本刀土俵入」等・自伝風小説「新コ半代記」には、2 号ドック建設の様子が描かれている。

6・横浜緋桜 (緋クラ)

港北区在住の臼井勲 (オム) さんが、昭和 47 年頃に作った新種桜。寒緋桜と兼六園熊谷 (山桜の一種) を交配誕生した桜。横浜公園・根岸公園・柏尾川堤・子供植物園・本牧公園山頂他で見られる。

7・汽車道

明治 44 年開通した新港埠頭・横浜税関構内の荷扱所と旧横浜駅を結ぶ臨港線の一区間 (焼く 00m) をプロムナードとして整備、保存した道。

8・港 1 号橋梁

9・港旧臨港護岸 (市認定歴史的構造物)

建設時期は明治 43 年。谷積石垣が鉄道関係擁壁築造技術のつながりを物語っている。

10・港 2 号橋梁

11・港 3 号橋梁

12・横浜国際船員センター (ナビオス横浜・ナビオはポルトガル語で船の意味、オスはオアシズ)

平成 11 年 4 オープン)

パリ凱旋門を思わす空間を設けた特徴外観建物で、ホテル、レストラン、スタンドバー等からなる、船員の憩いの施設。

モニュメントの錨；石川島播磨重工(株)からの寄贈で、1971 年 (昭和 46) 建造され、中近東

から日本へ原油運搬大型タンカー「高岡丸・載貨重量 215850 t」に備え付けられたものと同型のもの。(全長 316m 幅員 50m)。

13・横浜ワールド・ポーターズ (ファッション、インテリア、世界各国のグルメ、映画館等、個性豊かな店舗が 160 店以上ある大型複合商業施設。平成 11 年オープン。

14・JICA 独立法人国際協力機構 (設立平成 15 年 Japan International Cooperation Agency)

日本と開発途上国を結ぶ掛橋として、JICA は日本の ODA 実施期間として、開発途上国への国際協力行っている。(資本金 7 兆 4 7 4 2 億円) 平成 22 年。

15・新港サークルウォーク (環状歩道橋平成 11 年供用開始、延長約 225m 幅員約 4m 同年土木学会田中賞受賞。関東大震災復興事業で永大橋等名橋設計した帝都復興院初代橋梁部長、故田中豊氏の業績称える名誉ある賞)

16・新港埠頭 (横浜港第 2 期工事明治 39~大正 6 年埋め立て造られた横浜最初の人工島) 4 号岸壁)

4 号岸壁が日本郵船のシアトル航路船とサンフランシスコ航路船、5 号が日本の南米航路船、9 号が日本の欧州、航路、大栈橋が欧州航路の外国船と北米航路の外国船及び日本シアトル航路船等が使用した。昭和 2 年、4 号岸壁の上屋 2 階に、ホテル・ニューグランド経営するレストラン「臨港カフェ」開業。同 3 年、大栈橋「栈橋食堂」を帝国ホテル進出開業。現在は海上保安庁防災基地となり、当時の賑わった面影はない。

17・ドイツ軍艦爆発事件 (新港埠頭 8 号岸壁周辺で起こった)

昭和 17 年 11 月 30 日 (1942) 午後 1 時頃、8 号岸壁に停泊中のレックエルマルク号が大音響とともに突然爆発、火薬類を満載した、トホル号が続いて大爆発をおこし、ロテイン号、第三雲海丸等次々と誘爆し、付近の上屋、倉庫、建物等破壊する大事故が発生。死者 102 人を数えた (ドイツ人 61 名、中国人 36 名、日本人 5 名・山手、根岸外国人墓地に墓碑とともに埋葬されている)。

18・ララ物資記念碑 (ララとはアジア救援公認団体「LARA」likened Agencies for Relief In Asia の意味・LARA)

第二次大戦後、日本人は衣食住すべて不自由していた。この時、アメリカの宗教団体や日本三世達の団体が、日本の人々を救うために、ミルク、小麦、缶詰、衣類、医薬品、石鹼等を此処新港埠頭に昭和 21 年から 27 年まで 6 年間送り続けた。

19・海上保安資料館 (海上保安庁・工作船事件)

平成 13 年、海上保安庁は、九州南西海域で国籍不明不審船を発見、停船命令を無視し逃走を続けた。後、工作船は自爆用爆発物で爆発を起こし沈没。同船は北朝鮮の船で薬物の密輸入をしていた事実が判明した。

20・海上防災基地（施設は平成 8 年・現在全国 4571 隻の船艇、72 機の航空機（ヘリコプター 45 機）

を有し、約 11000 人庁員従事・東京湾一円海上防災拠点）

21・ハンマーヘッド・クレーン（索揚力 50 t 大起重機は大正 3 年石川島造船所製造設置・関東

大震災でも健在現役活躍・保存活用みなとみらい 21 地区ハンマーヘッドパーク計画も？）

22・旧横浜税関事務所遺構（右突堤中央事務所） 11:24~25 (フリー解散) 桜木町へ

新港埠頭の船の係留、貨物の取り扱い等港湾施設の管理や運営の窓口として、大正 3 年 11:47

（1919）年に建設された。レンガ造りスレート葺屋根 3 階建て、建坪 890 m²の材・コック建築

様式の建物で「三角事務所」と呼ばれていた。残念ながら関東大震災で焼け落ちてしまった。

23・旧横浜港プラットホーム（旅客昇降場）

大正 6 年（1917）の新港埠頭完成で、旅客や貨物の取り扱い増大。その為、横浜港へ線路

を延し、列車により乗客や貨物を運搬することとなった。乗客については、大正 9 年（1920）

より、東京駅からの汽船連絡列車（ボートレイン）が横浜港まで運行を始めた。昭和 17 年に一時

廃止されたが、昭和 32 年復活、再び同 35 年に撤廃した。

24・赤煉瓦倉庫（Red Brick Warehouses・市認定歴史的建造物・1 号倉庫、2 号倉庫・煉瓦

造 3 階・築年昭和 13 年 1938・1 号倉庫大正 2 年 1913・2 号倉庫明治 44 年 1911・平成元

年現役引退、横浜市が国から買い取った。現在赤煉瓦パークで、第 1 号館が映画・音楽祭・

美術展等文化施設、2 号館がショップやレストラン等商業施設・市認定歴史的建造物平成 14 年 3

月・設計大蔵省臨時建設部長妻木頼黄 1,859~1916・施工 1 号倉庫原木仙之助・2 号倉

庫直営）

設計者は、横浜正金銀行本店（現県立歴史博物館）や日本橋を手がけた明治の三大建築家の一人。レンガ造り 3 階建て。1 号倉庫は長さ 76m、2 号倉庫は長さ 149m。幅は 1・2 号倉庫共に 22.6m。第 1 号倉庫は関東大震災で 3 分の 1 倒壊修復された。

この倉庫は、横浜関税新港埠頭の保税倉庫、上屋（りや・岸壁や栈橋にあつて、貨物整理し、一時的に保管場所）として使用されていた。第二次大戦後は米軍に接收され、倉庫の一部を営倉（罪人監禁）として使用したと言う。昭和 31 年接收解除、同 40 年以降は船舶の大型化、近代化の波が押し寄せ、本牧埠頭などの近代的埠頭にその役割譲った。

以上

1 桜木町～日ノ出町コース
歩行時間・約65分

J R 京浜東北・根岸線 桜木町駅
市営地下鉄 桜木町駅 地図C-4

①開業当時の横浜駅長室跡 3分
②鉄道創業の地
③日本ガス事業発祥の地 7分
④金星太陽面経過観測記念碑 7分
⑤史跡 神奈川奉行所跡 23分
⑥近代水道発祥の地(パーマーの胸像) 16分
⑦天神阪碑(吉田新田) 6分
⑧長谷川伸の碑 3分
京浜急行 日ノ出町駅 C-6

⑨への行きかた

J R 京浜東北・根岸線 桜木町駅
市営地下鉄 桜木町駅 地図C-4

赤レンガパークをめざして 23分
⑨ララ物資の記念碑 D-1

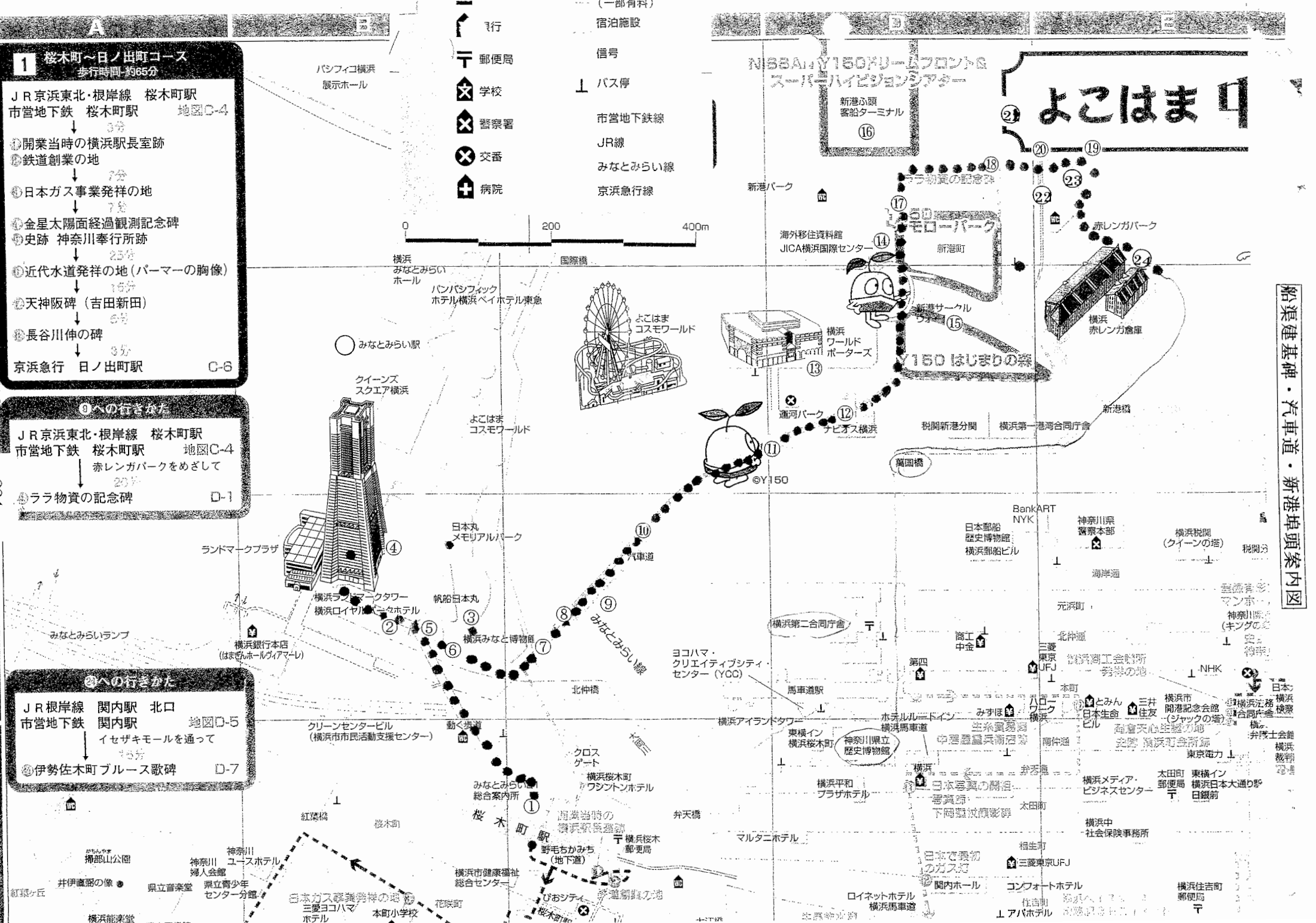
⑩への行きかた

J R 根岸線 関内駅 北口
市営地下鉄 関内駅 地図D-5

イセザキモールを通過して 3分
⑩伊勢佐木町ブルース歌碑 D-7

- 飛行
- 郵便局
- 学校
- 警察署
- 交番
- 病院
- (一部有料)
- 宿泊施設
- 信号
- バス停
- 市営地下鉄線
- JR線
- みなとみらい線
- 京浜急行線

0 200 400m



NISSAN Y150フリームフロントS
スーパーハイビジョンシアター

よこはま

新港ふ頭
客船ターミナル 16

新港パーク
海外移住資料館
JICA横浜国際センター 14

新港町
新港サークル
Y150 はじまりの森 15

横浜ワールドポーターズ 13
横浜赤レンガ倉庫 24

横浜第一港湾合同庁舎
税関新港分関
横浜第二合同庁舎

BankART NYK
日本郵船
歴史博物館
横浜船ビル

神奈川県
警察本部
横浜税関
(クイーンの塔)

海岸通
元浜町
北仲通
三井物産
UFJ

横浜アイランドタワー
横浜馬車道
横浜第二合同庁舎

横浜アイランドタワー
横浜馬車道
横浜第二合同庁舎

横浜アイランドタワー
横浜馬車道
横浜第二合同庁舎

横浜アイランドタワー
横浜馬車道
横浜第二合同庁舎

横浜アイランドタワー
横浜馬車道
横浜第二合同庁舎